【Ogasawara Research（小笠原研究）のひな形（和文用）】

○○○○○○○［和文タイトル：MS明朝、英数字はTimes New Roman/14pt］

○○ ○○1\*、○○ ○2、○ ○○1［著者：MS明朝、英数字はTimes New Roman/12pt］

Xxxx xxxxx xxxxxxx xxxxxxx xx [Title: Times New Roman/14pt]

Xxxxxx XXXX1\*, Xxxx XXXX2 & Xxxxx XXXX1 [Author: Times New Roman/12pt

姓はすべて大文字]

［以下、和文はMS明朝、英数字はTimes New Roman/11.5pt、欧文はTimes New Roman/11.5pt］

1. ○○○○○○○○○○○○（〒○○ ○○○○○○○○○○）

Xxxxx Xxxxx Xxxxx, Xxxxxx, Xxxxxx, Xxxxxx 111-2222, Japan.

2. ○○○○○○○○○○○○○○○○○（〒○○ ○○○○○○○○○○○○○○○）

Xxxx Xxxxx Xxxxx, Xxxx, Xxxxx, Xxxxx 123-4567, Japan.

\* xxxxx@xxxxxxxx (author for correspondence)

要旨

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

キーワード

　○○○○○、○○○、○○○○○○、○○○○、○○[内容を適切に表す語句を5つ以内で五十音順に記す。表題語句と重複しないように]

１．はじめに

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

２．材料と方法

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

３．結果

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

４．考察

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

５．謝辞

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

６．引用文献［雑誌名や Proceedings のタイトルは省略しない。各文献の最後のピリオドは、日本語・英語ともに半角のピリオドとする。日本語の姓名の書き方は、姓と名の間を半角空ける。］

私信は引用文献リストには含めない。本文中では「・・が観察された（可知 直毅氏による私信、2020）。」や「可知 直毅氏（私信、2020）によると、・・が観察された。」のように記述する。

***日本語の論文***

町田 洋・新井 房夫 (1978) 南九州鬼界カルデラから噴出したテフラ―アカホヤ火山灰．第四紀研究 17: 143-163.

***日本語の報告書***

加藤 芳郎・宇津川 徹 (1981) 父島の土壌. 小笠原諸島自然環境現況調査報告書 (2) . 東京都，133-142.

***日本語の単行本***

町田 洋・新井 房夫 (1992)『火山灰アトラス』東京大学出版会, 276p.

***日本語の単行本の一部***

黒田 直 (1992) 土壌．小笠原自然環境研究会 (編)『フィールドガイド小笠原の自然―東洋のガラパゴス』古今書院, 46-51.

***日本語のオンラインの情報***

小笠原村 (2020) 小笠原村公式サイト. https://www.vill.ogasawara.tokyo.jp/（最終閲覧日: 2020年2月22日）

***欧文の論文***

Aubry MP, Berggren WA & Kent DV (1988) Paleogene geochronology; An integrated approach. *Paleoceanography* 3: 707-742.

雑誌のタイトルはイタリックにする。

***欧文の報告書***

Olsen RR & Cameron JL (1993) Larval development of the pencil urchin. *Proceedings of 6th International Echinoderm Conference*, 807p.

報告書のタイトルはイタリックにする。

***欧文の単行本***

Fagri K & van der Piji L (Eds.) (1979) *The Principles of Pollination Ecology*. Pergamon Press, 500p.

本のタイトルはイタリックにする。

***欧文の単行本の一部***

Hori R, Pang VPE & Jin LT (1991) On the pattern of gonadal development of the sea urchin. In: *Biology of Echinodermata* (Ed. by Yanagisawa T, Yasumasu I, Oguro C, Suzuki N & Motokawa T), CRC Press, 249-255.

本のタイトルはイタリックにする。

***欧文のオンラインの情報***

Plummer M (2018) rjags: Bayesian Graphical Models using MCMC. R package version 4-8. [https://CRAN.R-project.org/package=rjags](https://cran.r-project.org/package=rjags), Accessed 24 April 2019.

原則として原稿のレイアウトは、A4サイズで以下の設定とする。

* 文字数=40、行数=36
* 余白は、上=32mm、下=32mm、左=30mm、右=30mm
* 和文フォントはMS明朝（英数字はTimes New Roman）、欧文フォントはTimes New Roman
* フォントサイズは、タイトルは14pt、著者名は12pt、それ以外の本文などは11.5pt
* 「括弧、ドット、カンマ、コロン、セミコロン」は、本文と図表キャプションにおいては全角、引用文献では英語・日本語ともに半角を使用する。
* 図表のフォントやサイズは任意
* 図表を本文中に挿入するか、後部にまとめるかは自由
* 最終的にはA4→B5（87%）に縮小印刷されることに留意する。

**OGASAWARA RESEARCH**

**SUMMARY**

Xxxxxxx xxxxxxx xxxxxxx xxxxxxx xxxxxx xxxxxxxx [Title: Times New Roman/14pt]

Xxxxxx XXXX1\*, Xxxx XXXXXX2 & Xxxxx XXXXXXX1［Author: Times New Roman/12pt

姓はすべて大文字]

[以下は、Times New Roman/11.5pt］

1. Xxxxx Xxxxx Xxxxx, Xxxxxx, Xxxxxx, Xxxxxx 111-2222, Japan.

2. Xxxx Xxxxx Xxxxx, Xxxx, Xxxxx, Xxxxx 123-4567, Japan.

\* xxxxx@xxxxxxxx (author for correspondence)

Xxxxx xxxx xxxxx xxxx xxxxx xxxxxxx xxxxx xxx xxx xxxxx xxxxxxxx xxxx xxxxx xxxxxx xxxxx xxxxx.

**Key words**

Xxxxx, Xxxx, Xxxxx, Xxxx, Xxxxx

[Times New Roman/11.5pt 日本語のキーワードと同じ語句を英訳してアルファベット順に記す。]